



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場会社名 本州化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4115 URL <http://www.honshuchemical.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 生坂 敏行
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 和田 和興 (TEL) 03-3272-1482
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	4,135	△27.9	504	△47.1	490	△48.3	232	△55.4
28年3月期第1四半期	5,736	15.7	954	45.3	949	37.5	520	24.2

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △76百万円(-%) 28年3月期第1四半期 851百万円(128.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	20.24	—
28年3月期第1四半期	45.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	25,729	16,180	56.1
28年3月期	25,848	16,440	56.5

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 14,433百万円 28年3月期 14,603百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	16.00	26.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	10.00	—	16.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,300	10.2	2,700	35.7	2,600	36.1	1,350	79.7	117.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付書類4ページ(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付書類4ページ(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年3月期1Q	11,500,000株	28年3月期	11,500,000株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	23,067株	28年3月期	23,067株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年3月期1Q	11,476,933株	28年3月期1Q	11,477,129株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。また、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する事項は、本資料発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、世界的な景気減速の継続や、円高による企業収益の悪化懸念等により、国内景気は足踏み状態が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境は、自動車用特殊ビスモノマーは堅調に推移しておりますが、クレゾール誘導品は市況安や円高の影響を受け、また、電子材料、光学用特殊ビスフェノールについては在庫調整局面が続いており、厳しい事業環境となりました。

その結果、売上高は4,135百万円(前年同四半期比27.9%減)、営業利益は504百万円(同47.1%減)、経常利益は490百万円(同48.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は232百万円(同55.4%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<化学品>

・クレゾール誘導品

クレゾール誘導品は、家畜用飼料の添加剤に使用されるビタミンEの原料や農医薬品、電子材料及び酸化防止剤等の原料として使用されております。

当第1四半期においては、競合激化による販売価格の下落や顧客での設備トラブルによる需要減により、売上高は前年同四半期を下回りました。

・ビスフェノール

ビスフェノールは、パソコン・携帯電話・スマートフォン等のIT関連機器やデジタル家電の電子部品に用いられる耐熱性・精密成型性に優れた液晶ポリマー(LCP)の原料や医療分野等で使用されるPPSUの原料として使用されております。

当第1四半期においては、PPSU向けは堅調に推移したものの、パソコン市場等の低迷によりLCP向けの販売が低調であったため、売上高は前年同四半期を下回りました。

この結果、化学品セグメントについては、売上高は1,908百万円(前年同四半期比23.8%減)、総売上高に占める割合は46.2%となり、セグメント利益は214百万円(同2.2%増)となりました。

<機能材料>

・電子材料

当社の電子材料は、半導体及び液晶ディスプレイ(LCD)等の製造過程で使用されております。

当第1四半期においては、半導体市場では6月に入り一部製品で回復傾向が見られるものの、LCD市場では在庫調整が継続しており、売上高は前年同四半期を下回りました。

・特殊ビスフェノール

特殊ビスフェノールを原料とした樹脂は、耐熱性、光学特性に優れているため、特殊ポリカーボネート樹脂(自動車用部品、光学・電子部品用途向け)や特殊エポキシ樹脂(エポキシ封止材・積層板用途向け)の原料として使用されております。

当第1四半期においては、スマートフォン等の販売低迷の影響や成形材用途向け樹脂原料について顧客での在庫調整が発生したため、売上高は前年同四半期を大きく下回りました。

この結果、機能材料セグメントの売上高は、773百万円(前年同四半期比43.5%減)、総売上高に占める割合は18.7%となり、セグメント利益は50百万円(同84.8%減)となりました。

<工業材料>

・特殊ビスフェノール

自動車部品用途向けの特殊ポリカーボネート樹脂の原料に使用される特殊ビスフェノールは、主に海外生産拠点のハイビス社において製造販売しており、引き続き需要は堅調に推移しておりますが、為替換算等の影響により、売上高は前年同四半期を下回りました。

・受託品

受注数量が減少したため、売上高は前年同四半期を下回りました。

この結果、工業材料セグメントの売上高は、1,356百万円(前年同四半期比22.0%減)、総売上高に占める割合は32.8%となり、セグメント利益は584百万円(同15.1%減)となりました。

<その他>

販売用役等のその他セグメントの売上高は96百万円(前年同四半期比21.1%減)、総売上高に占める割合は2.3%となり、セグメント損失は16百万円(同42.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は、現金及び預金の増加(377百万円)、売掛金の減少(75百万円)、商品及び製品の増加(546百万円)等により、対前年度末比572百万円増加し、15,308百万円となりました。

固定資産は、対前年度末比691百万円減少し、10,420百万円となりました。

この結果資産合計は、対前年度末比118百万円減少し、25,729百万円となりました。

負債合計は、買掛金の増加(622百万円)、未払法人税等の減少(5百万円)、長期借入金の減少(362百万円)等により、対前年度末比140百万円増加し、9,548百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加(48百万円)、非支配株主持分の減少(89百万円)等により、対前年度末比259百万円減少し、16,180百万円となりました。

この結果、自己資本比率は56.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日に公表いたしました業績見通しの数字については、現時点では変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,441	5,818
売掛金	4,192	4,116
商品及び製品	3,445	3,992
仕掛品	388	302
原材料及び貯蔵品	861	697
その他	406	381
流動資産合計	14,735	15,308
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	7,660	6,945
その他(純額)	2,590	2,635
有形固定資産合計	10,251	9,580
無形固定資産	60	56
投資その他の資産	800	783
固定資産合計	11,112	10,420
資産合計	25,848	25,729
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,510	2,132
短期借入金	2,022	1,915
未払法人税等	419	413
役員賞与引当金	19	4
その他	1,215	1,274
流動負債合計	5,186	5,740
固定負債		
長期借入金	1,277	915
役員退職慰労引当金	105	39
退職給付に係る負債	1,829	1,854
その他	1,009	998
固定負債合計	4,221	3,808
負債合計	9,407	9,548

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500	1,500
資本剰余金	1,013	1,013
利益剰余金	12,204	12,252
自己株式	△14	△14
株主資本合計	14,703	14,751
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20	17
為替換算調整勘定	49	△185
退職給付に係る調整累計額	△169	△149
その他の包括利益累計額合計	△99	△317
非支配株主持分	1,836	1,746
純資産合計	16,440	16,180
負債純資産合計	25,848	25,729

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
売上高	5,736	4,135
売上原価	4,301	3,156
売上総利益	1,435	979
販売費及び一般管理費	480	475
営業利益	954	504
営業外収益		
受取利息	0	—
受取配当金	2	2
還付所得税等	6	2
その他	2	2
営業外収益合計	12	7
営業外費用		
支払利息	16	13
固定資産除却損	0	8
その他	0	0
営業外費用合計	17	21
経常利益	949	490
税金等調整前四半期純利益	949	490
法人税等	304	155
四半期純利益	645	334
非支配株主に帰属する四半期純利益	124	102
親会社株主に帰属する四半期純利益	520	232

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	645	334
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	△3
為替換算調整勘定	204	△427
退職給付に係る調整額	△8	20
その他の包括利益合計	206	△410
四半期包括利益	851	△76
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	635	13
非支配株主に係る四半期包括利益	216	△89

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,505	1,368	1,739	5,613	122	5,736	—	5,736
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,505	1,368	1,739	5,613	122	5,736	—	5,736
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	210	334	688	1,233	△28	1,205	△250	954

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△250百万円には、各報告セグメントに配分していない
全社費用△250百万円が含まれております。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,908	773	1,356	4,039	96	4,135	—	4,135
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,908	773	1,356	4,039	96	4,135	—	4,135
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	214	50	584	850	△16	834	△329	504

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△329百万円には、各報告セグメントに配分していない
全社費用△329百万円が含まれております。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。